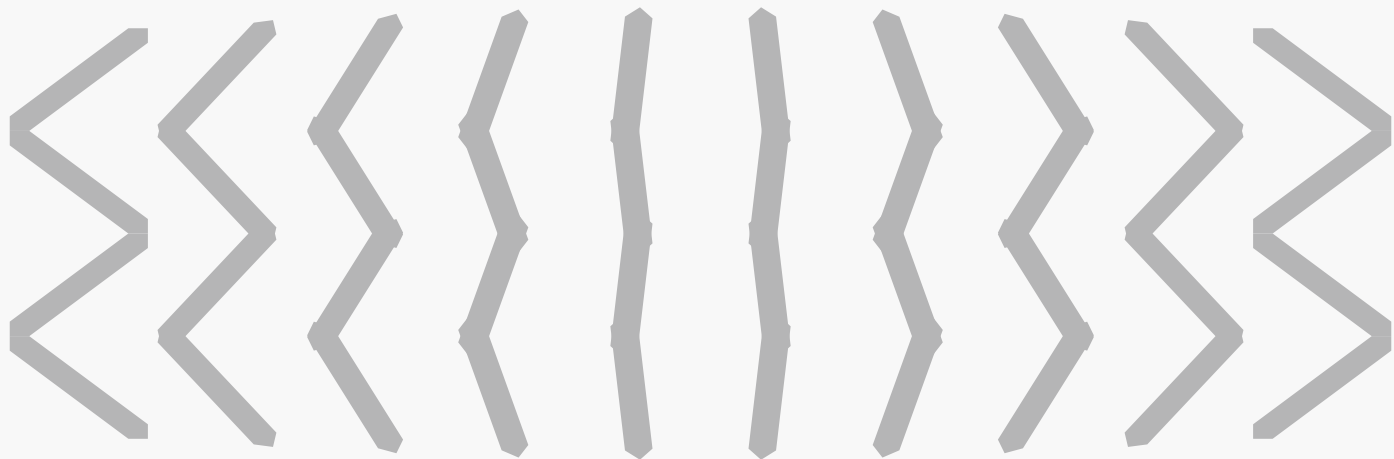




ISiD Business Report 2019.1.1-2019.12.31

ISiD

ごあいさつ

平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年度の業績は、売上高100,679百万円(前期比110.6%)、営業利益10,075百万円(同122.3%)、経常利益9,648百万円(同117.7%)、親会社株主に帰属する当期純利益6,226百万円(同120.0%)と、いずれも2期連続で過去最高となりました。

中期経営計画「ISiD X (Cross) Innovation 2021」に掲げた取り組みを着実に推し進めたことに加え、社員一人ひとりの人間魅力を最大限に引き出すべく、中計策定と同時に刷新した企業理念を全社員に浸透させるための様々な施策を推進しました。その結果、売上高1,000億円、営業利益100億円、営業利益率10%を創業来初めて達成し、中計初年度として順調なスタートが切れたものと考えております。

ISiDグループ企業理念

ミッション

誠実を旨とし、テクノロジーの可能性を切り拓く挑戦者として、
顧客、生活者、社会の進化と共存に寄与する。

ビジョン

HUMANOLOGY for the future

人とテクノロジーで、その先をつくる。

人を見つめ、社会の行く先をとらえ、テクノロジーの可能性を広げる。
人とテクノロジーが響きあえば、未来はもっと良くできる。

行動指針

AHEAD

先駆けとなる

Agile

まずやってみる

Humor

人間魅力で超える

Explore

切り拓く

Ambitious

夢を持つ

Dialogue

互いに語り尽くす

これもひとえに、株主さまをはじめとするステークホルダーの皆さまのご支援の賜物と感謝しております。期末配当は、株主還元をさらに強化すべく、期初配当予想比7円増配の1株当たり42円としました。これにより年間配当は前期比14円増配の1株当たり77円となります。

2020年度は3カ年中期経営計画の中間年度となります。新型肺炎の影響により景気の先行きに不透明感が増しているものの、革新的なサービスの創出やビジネスプロセスの変革に向けた社会や企業のIT投資は、引き続き底堅く推移するものと見ています。当社グループは既存事業のさらなる強化とともに、FinTech、デジタルマーケティング、スマートエンタープライズ、モノづくり革新などの領域で「X Innovation」による新たな価値創出を加速させ、お客さまや社会の課題解決を支援してまいります。

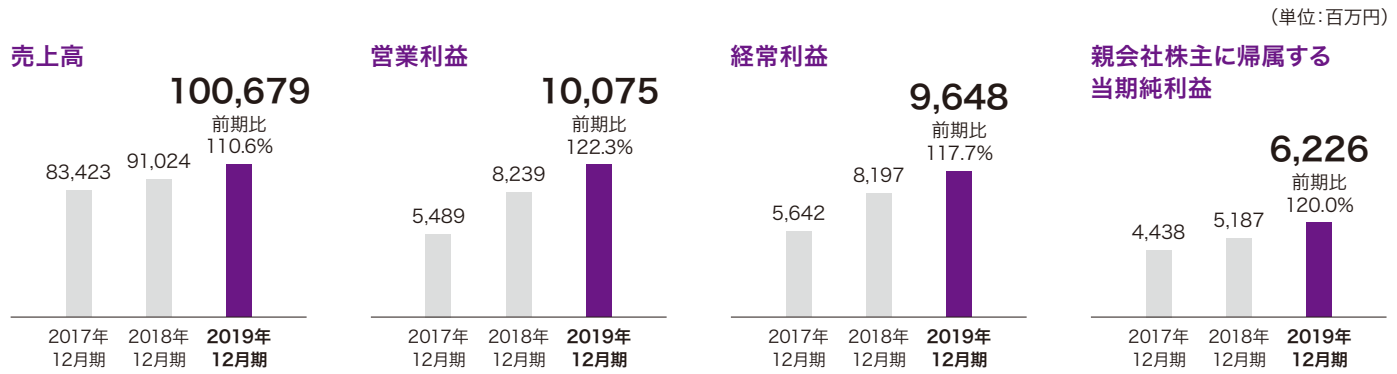
今後もより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役

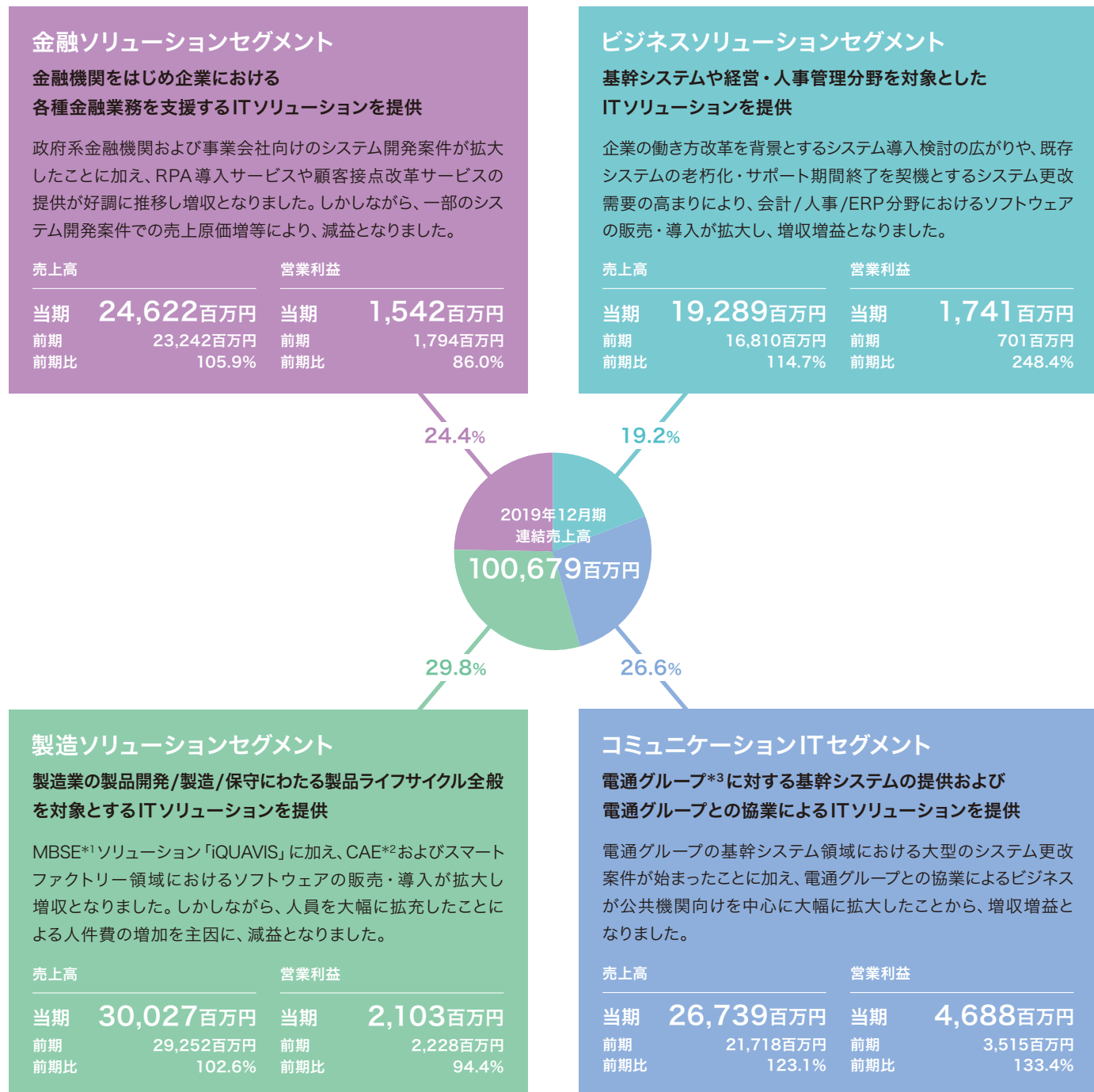
石和亮一



2019年12月期業績ハイライト



事業セグメント別の営業概況



2020年12月期の業績予想

2019年12月期に続き、全セグメントによる増収を目指します。利益につきましても、人材および事業成長への投資を積極的に行いつつ、営業利益率10.0%を維持し、増益を目指します。

売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、すべて過去最高となる見通しです。

業績予想

(単位：百万円)			
	2020年 12月期予想	増減額	前期比
売上高	105,000	+4,321	104.3%
営業利益	10,500	+425	104.2%
経常利益	10,217	+569	105.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,911	+685	111.0%
1株あたり年間配当金	86円	+9円	配当性向 40.5%

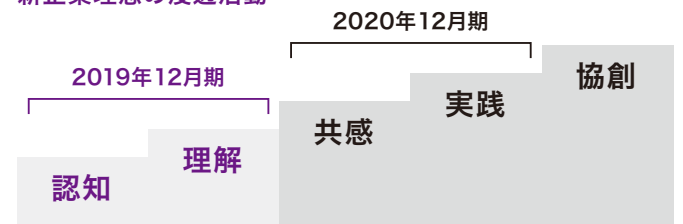
事業セグメント別売上高予想

(単位：百万円)			
	2020年 12月期予想	増減額	前期比
金融ソリューション	25,611	+989	104.0%
ビジネスソリューション	20,057	+768	104.0%
製造ソリューション	31,410	+1,383	104.6%
コミュニケーションIT	27,920	+1,181	104.4%

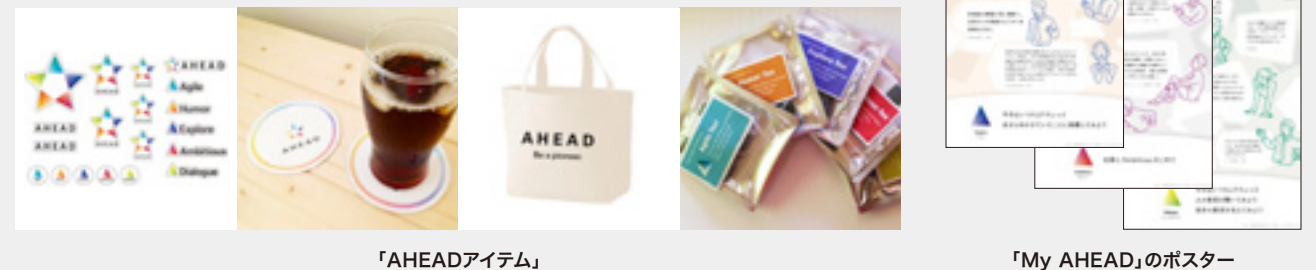
中期経営計画「ISID X(Cross) Innovation 2021」の進捗

コミュニケーションITセグメントが中計目標を前倒して達成したほか、スローガンとして掲げた“X Innovation”のもとセグメントを超えた複数の新規案件が創出されるなど、初年度は順調な滑り出しとなりました。また、中計策定と同時に刷新した企業理念の浸透に向けた各種施策も積極的に推進しております。

新企業理念の浸透活動



新企業理念の浸透に向け **認知** および **理解** 醸成のための
各種施策を実行 ※下記は行動指針「AHEAD」の展開例



*1 Model Based Systems Engineeringの略。実機試作を極力行わず、実験からの統計データや物理現象を記述する数式等の「モデル」を用いたシミュレーションを活用する製品開発手法。

*2 Computer Aided Engineeringの略。

*3 株式会社電通は2020年1月1日付で株式会社電通グループに商号を変更しました。文中における「電通グループ」は、原則として企業グループ総体を意味しています。

UiPath株式会社のリセラー最高位「ダイヤモンドパートナー」に認定

世界有数のRPAベンダーであるUiPath株式会社より、高い技術力とサポート力が評価され、同社の認定リセラー最高位「ダイヤモンドパートナー」に認定されました。



65歳定年制の導入を決定、2020年1月1日より施行

“どのスポーツに向いているか” AIが提案する「DigSports」を山形県「旧長井小学校第一校舎」に納入

子どもの運動能力をセンサーで自動測定し、一人ひとりの長所に応じて、どのスポーツに向いているかをAIが提案するシステム「DigSports」を、全国で初めて公共施設へ導入しました。



iQUAVISの中国展開を本格化

子会社である上海電通信息服务有限公司を通じて、中国でコンサルティング事業を展開する企業と業務提携し、MBSEソリューション「iQUAVIS」を、中国市場向けに製品化した製品の販売を開始しました。



広報誌『INTERFACE』59号を発行

「X Innovation」をテーマに据え、AI、ブロックチェーン、ものづくり革新等の領域で、業界・企業・地域等の枠を超えた多彩なプロジェクトをご紹介します。



ISIDウェブサイト
(広報誌「INTERFACE」)

8月

9月

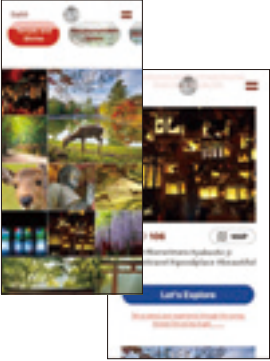
10月

11月

12月

訪日外国人向け観光型MaaS「くるり奈良」実証実験を開始

ISID、株式会社デンソー、ActiveScaler Inc.、奈良交通株式会社および一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会は、訪日外国人を主な対象として、旅の出発地から目的地まで、飛行機、バス、タクシーなどの交通網をスマートフォンで検索・予約・決済できる観光型MaaS「くるり奈良」の実証実験を実施しました。



地域貢献活動をアプリでスコア化、「AYA SCORE」実証実験を宮崎・綾町で開始

綾町地域定住推進協議会と、地域貢献につながる活動をアプリでスコア化することで「助け合いのまちづくり」を目指す『AYA SCORE』実証実験を、宮崎県東諸県郡綾町において開始しました。



「第3回日経スマートワーク経営調査」で4星を獲得

株式会社日本経済新聞社が2019年11月12日に発表した、働き方改革を通じて生産性革命に挑む先進企業を選定する「第3回日経スマートワーク経営調査」において、4星を獲得しました。



株式会社ACSiONが不正検知プラットフォームを提供開始

株式会社セブン銀行との合併会社である株式会社ACSiONは、不正検知プラットフォーム「Detecker（ディテッカー）」の提供を2019年12月より開始しました。

ISIDのあゆみといま

1975年12月、ISIDは日本民間初のTSS（タイムシェアリング・サービス：コンピュータの共同利用）を提供する会社として、株式会社電通（現 株式会社電通グループ）と米国General Electric Companyとの合併により設立されました。

グローバル展開を進める大手金融業や製造業を中心に顧客を開拓し、TSSサービス終了後も、コンサルティングサービス、システム開発、ソフトウェア販売、アウトソーシングと事業領域を拡大してまいりました。

2008年9月のリーマンショックの影響を大きく受けたものの、その後は順調に成長を遂げ、2019年12月期に売上高1,000億円、営業利益100億円、営業利益率10.0%を達成することができました。

ISIDグループはこれからも、テクノロジーの可能性を切り拓く挑戦者として、お客さまと社会の進化と共存に寄与してまいります。

売上高 ※設立から1998年3月期までは単体数値、1999年3月期以降は連結数値

(億円)

1,000

500

0

1976年
3月期

1980年
3月期

1985年
3月期

1990年
3月期

1995年
3月期

2000年
3月期

2005年
3月期

2010年
3月期

2015年
12月期

2019年
12月期



1975年
電通とGEの合併により、
(株) 電通国際情報サービス設立



1982年
CAEテクノロジーセンター開設

1986年
初の海外拠点を
英国（ロンドン）に開設

1989年
電通の社内情報システムについて
開発・運用業務を継続受注開始

バブル崩壊

1993年
3次元CAD (Computer Aided Design) を
提供開始



2000年
東京証券取引所 市場第一部に上場

ITバブル崩壊

2003年
連結会計 ソフトウェア「STRAVIS」を提供開始



2002年
統合HCMソリュー ション「POSITIVE」を提供開始



2004年
融資統合ソフトウェア
「RiskTaker (現 BANK・R)」を提供開始



2009年
設計・開発業務支援ソフトウェア
「iPRIME NAVI (現 iQUAVIS)」を提供開始



2016年
日本初のFinTech拠点
「FINOLAB」を開設

2015年
決算期を
3月から12月に変更
(9カ月決算)



売上高1,000億円突破

ログミーファイナンス
ウェブサイト
(決算説明会)



2019年
中期経営計画
「ISID X (Cross) Innovation 2021」スタート

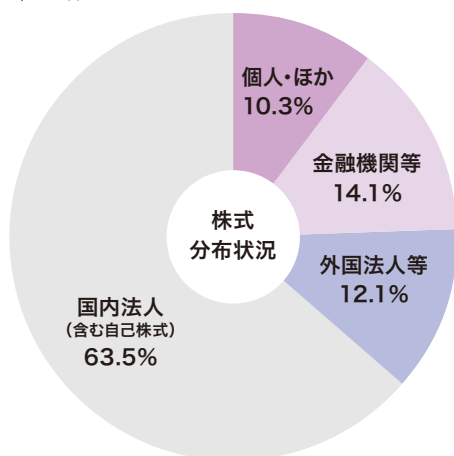
プロフィール

会社概要

社名	株式会社電通国際情報サービス
本社	東京都港区港南二丁目17番1号
設立	1975年12月11日
連結従業員数	2,879名(2019年12月末現在)
子会社数	17社(国内9社・海外8社)
URL	www.isid.co.jp

株式状況(2019年12月末現在)

発行済株式の総数 32,591,240株
株主数 3,063名



IRサイト(www.isid.co.jp/ir/)・IRメール配信のご案内

さらに詳しいIR情報は当社のWebサイトからご覧いただけます。



登録いただいた皆様にプレスリリース、決算情報など、IRに関する新着情報をメールにてお届けしています(無料)。

ご希望の方は、以下のURLもしくはQRコードよりお手続きください。

＜ご登録はこちらから＞

<https://www.isid.co.jp/ir/mail.html>



お問い合わせ先

株式会社 電通国際情報サービス

銘柄コード: 4812 (銘柄名: ISID)

〒108-0075 東京都港区港南2-17-1

03-6713-6160 (IR 関連) 03-6713-6055 (株式事務関連)

www.isid.co.jp (当社Webサイトからもお問い合わせいただけます)

取締役および監査役

代表取締役社長	名和 亮一	常勤監査役	中込 洋之介(社外)
取締役	豊田 操	監査役	笹村 正彦(社外・独立)
取締役	上原 伸夫	監査役	伊瀬 慎宣
取締役	一條 和生(社外・独立)		
取締役	村山 由香里(社外・独立)		
取締役	山口 修治		

大株主: 上位10名(2019年12月末現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社電通	20,129	61.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,951	6.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,085	3.3
電通国際情報サービス持株会	803	2.5
GOVERNMENT OF NORWAY	608	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	365	1.1
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG / JASDEC / FIM / LUXEMBOURG FUNDS / UCITS ASSETS	335	1.0
MSIP CLIENT SECURITIES	250	0.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	245	0.8
野村證券株式会社	239	0.7

※1 持株比率は自己株式(8千株)を控除して計算しております。

※2 株式会社電通は2020年1月1日付で株式会社電通グループに商号を変更しました。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
配当金受領株主確定日	期末配当金12月31日/中間配当金6月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
(同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel.0120-232-711 (通話料無料)(平日9:00~17:00)
(同郵送先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。